

地元の情報紙 26年1月号 77号

とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8 - 3 - 3 - 201 電話090(1201)1297

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



寒中お見舞い申し上げます



胡録神社元旦 2,000 人超の参拝者

毎年元旦から多くの参拝客で賑わいを見せてきた「胡録神社」今年も晴天の影響で賑いました。紅白歌合戦が終わると同時に長い列が出来、0時。胡録和太鼓の合図と同時に始まり午前2時までに900人、明けて9時頃より夕方までに1,300超の参拝客が訪れました。夜中は若睦の方が汐入大根汁や甘酒を振舞いました。



南千住コミバス 右回りルート開始の見通し

南千住駅 サンパール荒川 7～8分 要望実現



汐入地区の住民からの長い間の要望の一つである、コミュニティバス「南千住さくら」の南千住駅からの**逆回りルートの開設**。自民党は勿論、私も担当課に要望を伝えてきました。この課題について、荒川区の26年度の予算に2千万円位の予算が認められる見通しになってきました。2月から始まる予算委員会で

審議され、3月17日の区議会本会議で正式に決まります。その時に、改めて報告いたします。

「汐入さくら」乗降客増加

平成20年11月からスタートした「汐入さくら」。運行当初の利用客は1日約500人でしたが、リバーサイド病院や大型マンションの開設などの影響で昨年は1日1,300人にまで増加してきました。今後も増加すると見込まれます。尚、他の路線の利用客は次のとおりとなっています。

コース	南千住ルート	町屋ルート	北千住ルート	汐入ルート
1日の利用客	1,400	500	400	1,300

「サンパール荒川」1年間閉館

文化の殿堂「サンパール荒川」。築40年近くになりトイレ等の給排水廻りや壁など、あちらこちらでの老朽化が目立つようになりました。この機会に大改修すべきとなり、25億円をかけ来年27年4月から28年3月まで1年間休館し工事に入る事になります。常連客には不自由をかける事になります。



大型商業施設開設 14,000 m²

京成千住大橋駅前 4月18日

千住大橋から徒歩5分。今、足立区側京成千住大橋駅前の新しい街の出現に注目が集まっています。リーガルの靴を作る「ニッピ」と「UR都市機構」が共同で開発を行っている「**ポンテグランデTOKYO**【イタリア語で大きな橋の意】。面積は都立汐入公園と同じ12.4ha。その中心となるのが大型



商業施設「ポンテポルタ千住」で今年4月18日に開業します。三菱地所が定期借地でニッピより賃借し開発しました。施工は大成建設、店舗面積は14,000 m²で5階建て。この中にスーパー「ライフ」「ヤマダ電機」等44店舗が出店。駐車台数は235台、駐輪台数は435台となっています。

住宅1,800戸5000人の街も開発中

「**ポンテグランデTOKYO**」計画では、商業施設の他に駅前交通広場、計画道路、公園、保育所、医療福祉施設などの開設でこの地域での景色を一変させる計画となっています。電車で行かれる方は「京成関屋」を利用し、「京成千住大橋駅」で下車となります。

汐入冬の風物詩「スポクラ駅伝IN汐入」開催

1月19日(日)水神大橋近くの公園で、汐入冬の風物詩となった、第3回「**スポクラEKIDENin汐入**」が快晴の中、開催されました。今回は参加者350名(小学・中学・一般)スタッフ60名という大きな大会となりました。小学生2キロ・中学生3キロ・一般4キロでたすきをつないで力走していました。6年後は東京オリンピックです。



旧・汐入地区の住宅と現在道路の関連 はなみずき通りと8丁目町会

昨年12月号では鐘ヶ淵汐入工場について掲載させていただきました。現在の汐入地区の道路は「けやき通り」「はなみずき通り」「とちのき通り」など、樹木からの通称名を使用していますがそれらの通り名は、再開発前の道路が生かされている道路があります。

上の写真は現在の「はなみずき通り」のベルポート商店街から荒川三中方向へ眺める写真です。現在の荒川三中の場所は当時の「ユニチカ自動車教習」があった場所で、その隣にはボーリング場や東京で有数の



昭和40年頃撮影・現在の「はなみずき通り」左が「8丁目町会」現・6番館都住。右がニチボウの塀



広さを持つゴルフ練習場があり、研修生として若き尾崎将司・青木功等も教えていました。又、当時汐入には「石橋町会」「8丁目町会」「親交会」の3つの町会で構成されていて、人口も昭和30年代は約13,000名（含む紡績工場での従業員）で現在の人口（12,000名）とほぼ一緒に活気のあった地域でした。